

長野市公共施設マネジメント NEWS LETTER

Vol. 35
令和8年1月

自治体職員向けスキルアップ研修を開催

この研修は、長野地域連携中枢都市圏ビジョンに基づき、須坂市、坂城町、高山村、信濃町、飯綱町との連携事業の一環として開催しており、今年で9回目を迎えます。

今回は、公民連携の先進自治体として、射水市公共施設マネジメント推進課、課長補佐の浅井幸代氏に『射水市の公共施設包括管理業務委託に学ぶ』をテーマにご講演いただきました。

包括的な公共施設管理とは？

学校や庁舎などの公共施設を対象に、点検、清掃、設備保守、小規模修繕などの業務を一括して民間事業者へ委託する仕組みです。これにより従来は施設ごと異なっていた管理方法が統一され、効率的な維持管理が可能となります。また、行政の事務負担を軽減するだけでなく、限られた人材や財源の有効活用にも繋がることが期待されています。



研修風景

富山県射水市から学ぶ

射水市では、北陸地方でいち早く包括的な管理業務委託を導入し先進的な取組を進めています。105施設・866業務を一括発注することで、職員の管理業務時間の短縮や施設情報の一元化、修繕工事への迅速な対応など、さまざまな効果が確認されています。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の際には、包括管理の事業者から、建築士や建築施工管理技士が延べ70名派遣され、18日間にわたり学校やコミュニティーセンターなど、計65施設の巡回点検を実施しました。その結果、発災から短期間で施設の利用再開が実現されました。

今回の研修を通して、包括的な管理業務委託の有効性を改めて認識することができました。

射水市の紹介

平成17年11月 1市3町1村の合併により誕生

- 【面積】 109.44 km²
- 【人口】 89,576人 (R7.9月末現在)
- 【世帯数】 37,604世帯 (R7.9月末現在)
- 【特徴】 富山県のほぼ中央に位置し、東西を県下2大都市である富山市、高岡市に隣接した半径約7kmのまとまりのあるコンパクトな市



研修会資料から抜粋



内川沿い



新湊漁港の屋セリ



海王丸と新湊大橋



新湊曳山まつり

写真提供：射水市、射水市観光協会

射水市は人口約9万人の都市で、観光では海と歴史ある街並みが魅力です。特に「日本のベニス」と呼ばれる内川エリアには、個性豊かな橋が架かっています。

白エビをはじめとする海の幸を楽しむことができ、景観・文化・グルメが揃った観光地です。

公共施設のこんなところで民間活力を活用しています

少子高齢化に伴い、社会保障関連経費が増加するなど厳しい財政状況が見込まれる中、財政負担の軽減に向け、収入の確保などの取組を通じ、持続可能な行政運営を実現することの重要性が高まっています。

そこで今回は、皆さんの身の回りにある公共施設において、民間の活力を活用し、アイデアで収入を生み出す取組や、民間事業者のノウハウを活用することで、設備設置費用を削減し、サービス向上につながる取組についてご紹介します。

長野市の取組

1 マンホール広告の導入

下水道マンホール蓋を広告媒体として活用するもので、長野市では令和6年度から開始し、募集初年度は3件の募集にすべて応募があり、下図のとおり実際に広告が装着されています。

南千歳町北交差点付近
(MH-1)



MH-1

国道19号

市役所前駅

コンビニ

マンホール広告は、身近な施設で収益を得られる事業です。
カラフルで目立つので足元も気にしてみてください。
詳しくは、こちらを見てにゃ！



マンホール広告
ホームページへ



南千歳町南交差点付近
(MH-2)



MH-2

長野駅(長野電鉄)

善光寺口

長野駅

東口

ユメリアバスパーク前
(MH-3)



MH-3

東口公園

長野市上下水道局HPから抜粋

ーマンホール広告についてー

マンホール広告で使用するのには、広告デザインを張り付けたステンレス製のデザインプレート（マンホール蓋のくぼみ）に装着する形式で、維持管理に必要な自主財源の確保をはじめ、地域経済の活性化や街の賑わいの創出、イベントや観光PR、市の施策の啓発などに活用します。

2 ネーミングライツ(命名権)の導入

日本でネーミングライツの先駆けとなったのは、2003年に導入された、「味の素スタジアム」(正式名称:東京スタジアム)です。最近では、国立競技場が「MUFGスタジアム」と命名されたことも注目されています。

長野市では「芹田小学校前横断歩道橋」で、令和2年度から導入しました。現在、ほかの施設でも募集しています。



セリタホームズ前歩道橋

ーネーミングライツとはー

公共施設などの名称に企業の社名やブランド名を愛称として付ける権利のことで、企業が支払う命名権料は、施設の維持管理費やサービス向上に役立てられます。



ネーミングライツ
ホームページへ

今も募集中！
ホームページ
を見てにや。



3 財政負担のないデジタルサイネージの設置

長野市役所には、業務案内や市内の地図を表示したデジタルサイネージがあり、タッチパネル式の業務案内から、来庁者が必要な情報を簡単に検索することができます。

このデジタルサイネージの運営費は、設置者である民間事業者が広告収入によって、賄っています。



4 財政負担のないAEDの設置

長野市役所の各庁舎の入り口には、「広告付きのAED」を設置しています。AEDの管理費用は市と協定を締結したAED設置事業者が広告収入によって、賄っています。

同様の広告付きAEDは、市有施設に10箇所程度設置されています。



市役所第一庁舎入口



市役所第二庁舎入口

清泉大学との連携事業

平成30年度から清泉大学との包括連携協定の連携事業として、これからの社会を担う若者の立場で「公共施設マネジメント」を考えるプロジェクトを大学1年生の講義の中で取り組んでいます。

～今年度のここまでの取組～

- | | |
|---------|--|
| 令和7年 5月 | 昨年度のプロジェクトメンバーである大学2年生から「公共施設マネジメント」についての発表を聞く |
| 令和7年 6月 | 研修「長野市の公共施設マネジメントの現状」を学ぶ |
| 令和7年 7月 | グループワーク「視察する公共施設」を決める |
| 令和7年 8月 | 現地視察（市役所本庁舎、芋井支所、森の駅Daizahoushi、そば博物館とんくるりん、ながのこども館） |
| 令和7年11月 | グループワーク「視察を通して改めて公共施設マネジメント」を考える |

※今後は「学生にとっての公共施設」の視点で取り組む具体的な内容を検討していきます。

公共施設を現地視察しました

市役所本庁舎



ながのこども館



～現地視察の感想～

- ・日常的に利用している公共施設は意外と少ないと感じた。また、公共施設だと知られていない建物や、利用者が限られている施設を見て、情報を広めることが利用者を増やすことにつながるのではないかなと思った。
- ・今回施設を視察して「こういう場所も公共施設のひとつなんだ」と知り、とても驚いた場所が多かった。実際に視察したことにより、更に公共施設について興味を持つことができ、貴重な経験となった。

過去のニュースレターはHPへ [【長野市ホームページ＞市政情報＞施策・計画＞公共施設マネジメント】](#)

長野市 総務部 公民連携推進局 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
(Tel) 026-224-7592 / 026-224-9718 (E-mail) koukyou@city.nagano.lg.jp

◆挿入キャラクター「ミーコ」の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部に協力していただきました。

